

## 2020年度入試の実施概況

河合塾

## 2019～2021年度入試の動き

河合塾

入試年度

2019  
年度

都市部私立大・・・厳しい入試の継続

2020  
年度

最後のセンター試験 → 新入試を控えた安全志向

2021  
年度

高3受験

新入試での受験 受験人口は減少

大学入学共通テスト導入、多面的・総合的評価の一層の推進

2025  
年度

中2受験

新学習指導要領履修者による新々入試

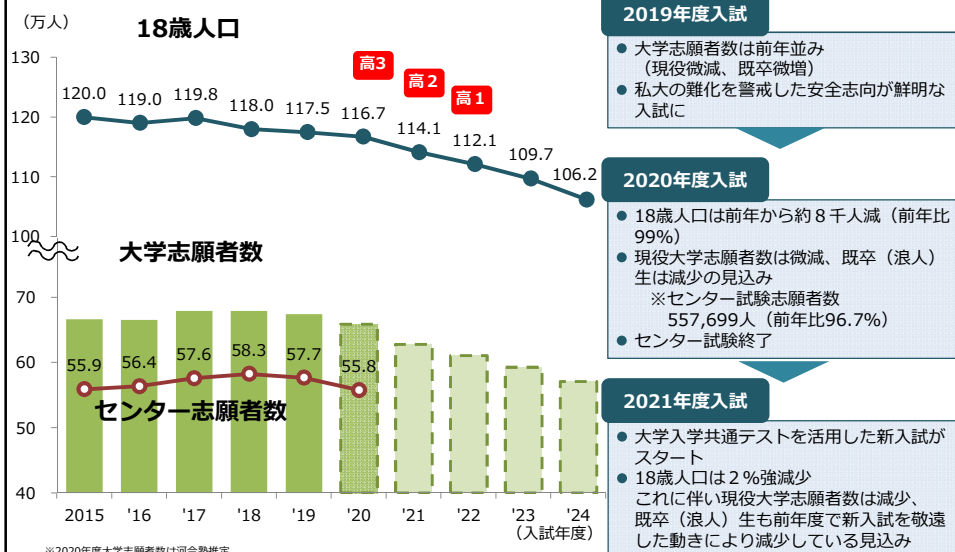
共通テスト・・・CBT化、「情報」出題？

©Kawaijuku Educational Institution. 2

## 2020年度入試の概況

- **大学志願者数は減少**
  - ・センター試験受験者数は4%減
- **センター試験 平均点はダウン**
  - ・英語・数学・国語の主要科目でダウン
- **国公立大の状況**
  - ・志願者数は減少、競争緩和へ
  - ・前年低倍率の大学・学部では志願者増も
- **私立大の状況**
  - ・志願者数は14年ぶりに減少、とくにセンター方式で顕著
  - ・合格者の絞り込みは落ち着く見込み
  - ・近年の難化の影響色濃く、難関大は敬遠傾向

## 大学志願者数の推移



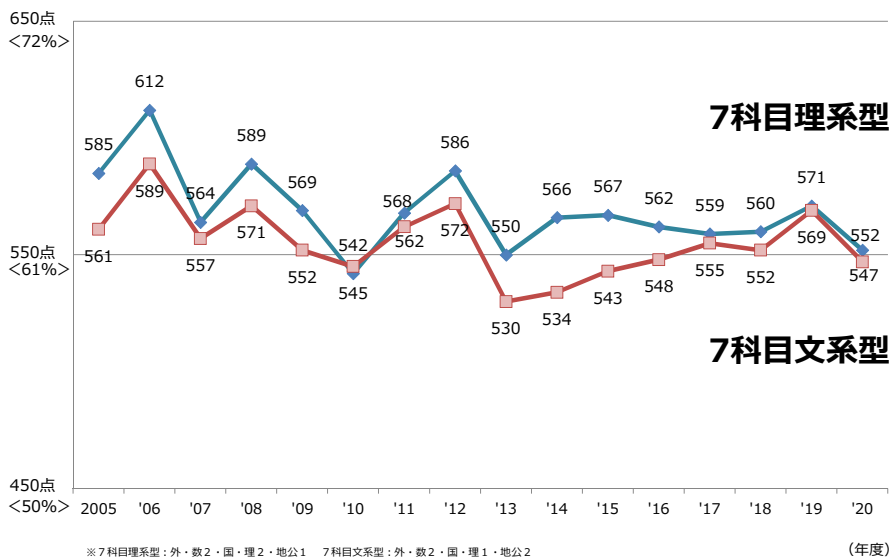
## センター試験 主要科目平均点

教科・科目		昨年	今年	差	
英語（筆記）		123.3	116.3	-7.0	
英語（リスニング）		31.4	28.8	-2.6	
数	数学Ⅰ・数学A	59.7	51.9	-7.8	
	数学Ⅱ・数学B	53.2	49.0	-4.2	
国語		121.6	119.3	-2.2	
理科	①	物理基礎	30.6	33.3	+2.7
		化学基礎	31.2	28.2	-3.0
		生物基礎	31.0	32.1	+1.1
		地学基礎	29.6	27.0	-2.6
	②	物理	56.9	60.7	+3.7
		化学	54.7	54.8	+0.1
		生物	62.9	57.6	-5.3
		地学	46.3	39.5	-6.8
地歴・公民	世界史B	65.4	63.0	-2.4	
	日本史B	63.5	65.5	+1.9	
	地理B	62.0	66.4	+4.3	
	倫理・政治・経済	64.2	66.5	+2.3	
	現代社会	56.8	57.3	+0.5	
	倫理	62.3	65.4	+3.1	
政治・経済	56.2	53.8	-2.5		

※大学入試センター資料より



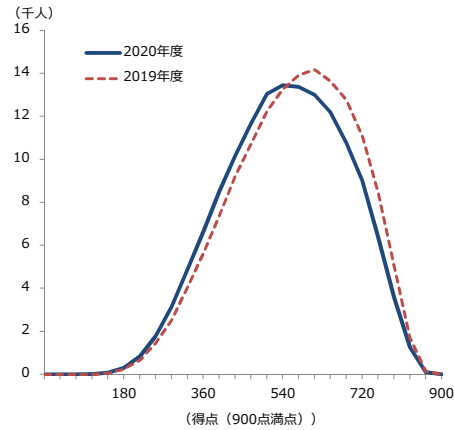
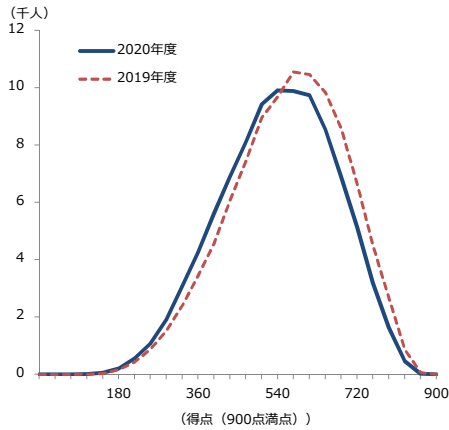
## センター試験 7科目型平均点の推移



## センター試験 7科目受験者の得点分布

<7科目文系型>

<7科目理系型>



平均点	人数
昨581.1点 → 今559.1点 (-22.0点: -2.4%)	昨99,863人 → 今96,573人 (-3,290人: 前年比97%)

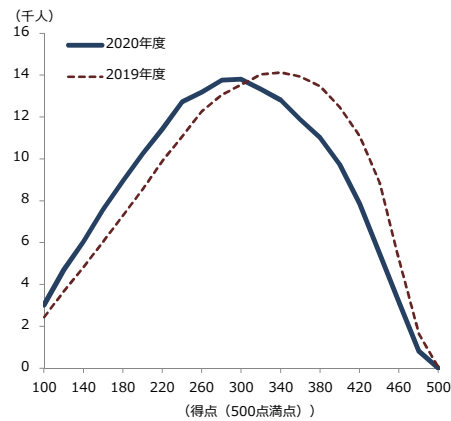
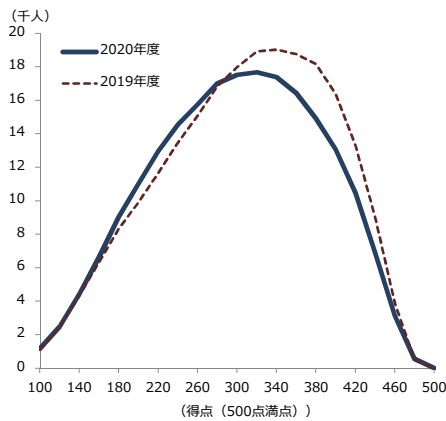
平均点	人数
昨583.6点 → 今564.4点 (-19.2点: -2.1%)	昨148,518人 → 今144,173人 (-4,345人: 前年比97%)

※センター・リサーチ参加者の得点分布・平均点

## センター試験 3教科型受験者の得点分布

<英・国・数or地公型>

<英・数・理型>



平均点	人数
昨317.7点 → 今308.8点 (-8.9点: -1.8%)	昨226,287人 → 今213,727人 (-12,560人: 前年比94%)

平均点	人数
昨311.9点 → 今293.6点 (-18.3点: -3.7%)	昨190,053人 → 今184,165人 (-5,888人: 前年比97%)

※センター・リサーチ参加者の得点分布・平均点

## (参考)2020センター試験 出題トピック

- 全体的には近年のセンター試験の傾向を踏襲した出題  
一部で新しい形式の設問がみられる
- 「読解力を要する問題」「**日常・学校生活に即した場面設定**」「**身近なテーマからの出題**」「**図表・複数の素材を読み取り考察する問題**」など大学入学共通テストの特徴とされる内容が、今年も各教科でみられた

### 時事的・実生活に関連するテーマからの出題例

英語（筆記）：

「慈善活動の企画」に関する大学生のやりとりにおける発言の主旨を選ぶ問題、「フリーマーケットの出店者募集の告知」の情報を読み取る問題など

現代社会：

「東京五輪・パラリンピックをテーマにした会話文形式の問題」や「成年年齢の引き下げ」「正規社員と非正規社員の手当での相違に関する最高裁判決」「働き方改革」など教科書に記載されていない時事的な内容

倫理、政治・経済：

「人工知能（AI）」「ノーベル平和賞受賞者マラ・ユスフザイ」「持続可能な開発目標（SDGs）」など

物理：

日本の研究グループが命名権を獲得した新元素「ニホニウム」を扱った問題

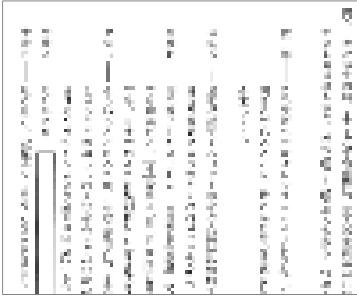
地学基礎：

自然災害について、地震による揺れと津波の高さ、火山地域のハザードマップを読み取る設問など

### 新傾向の設問形式、図表等の読み取りの出題例

#### ▼国語（現代文）第1問 問5

昨年に続き生徒が話し合う場面を踏まえた設問



#### ▼国語（漢文）第4問 問3

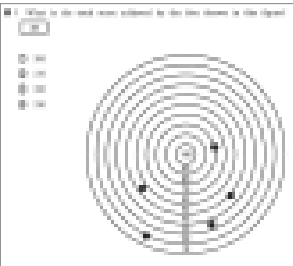
漢詩の中で詠まれた住居の様子を4つのイラストから選択する問題



漢文は、このほか問5の漢詩の表現に関する説明の問題も含め、従来あまり見られなかった傾向の出題があった。しかし設問に目新しさはあるものの、内容は難しくなく、訓読と読解の基本的な学力が要求されるものであった

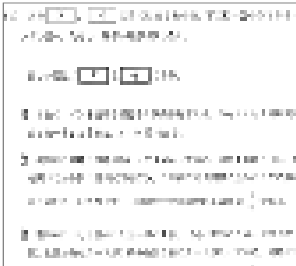
#### ▼英語（筆記）第4問A問1

ボール投げに関するビジュアル問題  
図の結果を見て計算させる新傾向の出題



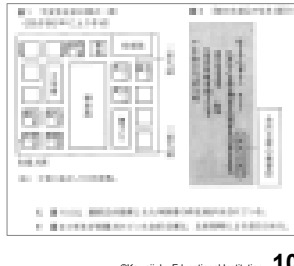
#### ▼数学I・数学A第3問[1]

選択肢の中から正しい記述を選ぶ目新しい出題



#### ▼日本史B第1問 問2

昨年はみられなかった図版を利用した出題が、今年は下記を含め3問出題された





## 国公立大の志願状況①(全体概況)

### 国公立大志願者数の変化

■全体概況

	2019年度	2020年度	前年差	前年比
前期日程	258,540	243,092	-15,448	94%
後期日程	179,613	165,082	-14,531	92%
中期日程	31,687	31,426	-261	99%

■国立・公立別(前期日程)

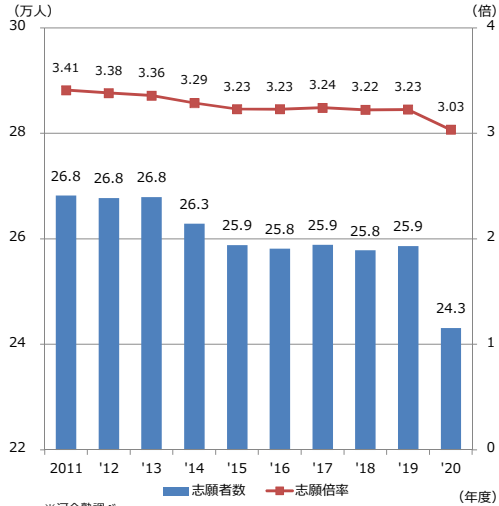
	2019年度	2020年度	前年差	前年比
国立大学	194,528	182,764	-11,764	94%
公立大学	64,012	60,328	-3,684	94%

■地区別(前期日程)

	2019年度	2020年度	前年差	前年比
北海道	12,297	12,584	+287	102%
東北	20,776	19,375	-1,401	93%
関東・甲信越	78,581	74,062	-4,519	94%
北陸・東海	33,902	31,326	-2,576	92%
近畿	43,531	39,697	-3,834	91%
中国・四国	34,585	33,865	-720	98%
九州	34,868	32,183	-2,685	92%

※河合塾調べ

### 前期日程志願者数の推移

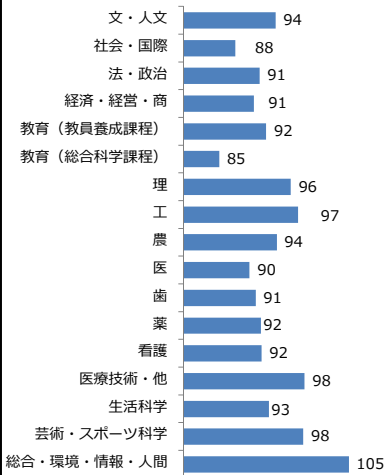


※河合塾調べ  
 ※グラフは確定志願者数の推移と志願倍率  
 ※志願倍率 = 志願者数 ÷ 募集人員



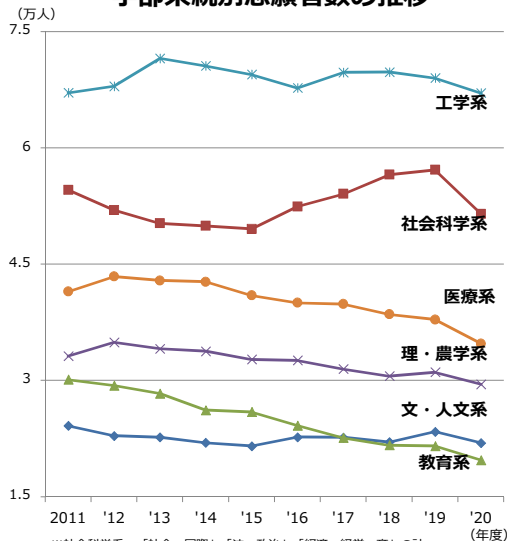
## 国公立大の志願状況②(系統別の状況)

### 学部系統別志願者数の変化



※前期日程で集計(河合塾調べ)  
 ※グラフ内の数値は前年比(%)

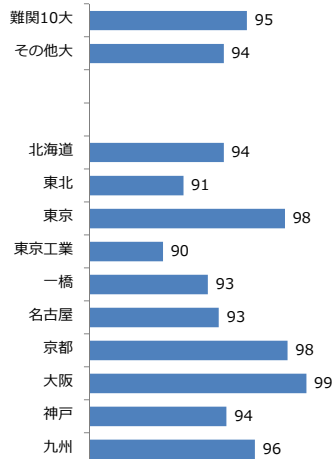
### 学部系統別志願者数の推移



※社会科学系:「社会・国際」「法・政治」「経済・経営・商」の計  
 ※教育系:「教員養成課程」「総合科学課程」の計

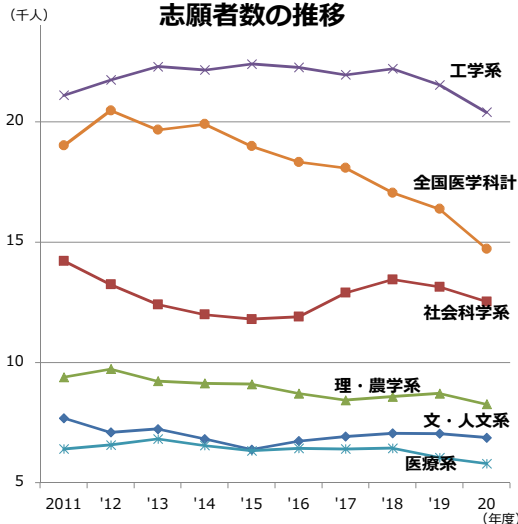
## 国公立大の志願状況③(難関大学の状況)

大学別志願者数の変化



※前期日程で集計(河合塾調べ)  
※グラフ内の数値は前年比(%)

難関10大学系統別+全国医学科  
志願者数の推移



※全国医学科計には難関10大学医学科を含む

## 国公立大の志願状況④(難関大学の学部別状況)

	北大	東北大	東大	東工大	一橋大	名大	京大	阪大	神大	九大
文 97	78	112	96			94	96	104	121	95
教育 71	87	67				64	78			72
外国語 110								110		
法 97	66	113	100		101	87	102	73	105	137
経済 90	99	83	94		78	95	102	89	79	101
経営・商 104					90				120	
理 98		106		102		97	92	100	104	92
工 95		92	100	88		92	103	112 基礎工	93 海事科	95 芸術工
農 92		86	95			97	91		85	88
水産 95										
獣医 81										
医 97	119	71	102			118	93	121	90	76
歯 76	103	67						85		64
薬 102		92					93	102		128
保健 97	106	85				102	95	107	81	106
学際・他 94	総合文 139				社会 103	情報 88	総合人 97	人間科 81	国際人 89	共創 93
	総合理 91									

※河合塾調べ 表中の数値は前期日程の志願者前年比(%)  
※東大: 文→文三、法→文一、経済→文二、工→理一、農→理二、医→理三  
※東工大: 工→理学院を除く全学院  
※保健は医学部のうち医学科以外の学科

### <主な入試変更点>

- **東北大**
  - ・経済: 理系入試導入
  - ・医(医): 入学定員減(前期-28名)
  - ・AO入試への募集人員シフト
- **一橋大**
  - ・授業料値上げ(107,160円増/年)
  - ・7大学めの指定国立大学法人に指定
- **名古屋大**
  - ・医(医): 前期の2段階選抜廃止
- **大阪大**
  - ・医(医): 前期の第1段階選抜の基準変更、2次の配点変更(2次重視に)
  - 720/900点かつ2.6倍→630/900点かつ3倍
  - 2次の配点 600→1500
- **神戸大**
  - ・農: コース名称変更
  - 環境生物学コース→応用機能生物学コース
- **九州大**
  - ・芸術工: 学科改組
  - ・医(医): 前期の第1段階選抜の倍率変更(4→2.5倍)、2次で面接実施
  - ・歯: 前期の2次で面接実施



### 私立大の志願状況①(全体概況)

私立大志願者数の変化

■全体概況

	2019年度	2020年度	前年差	前年比
全体	3,786,275	3,678,448	-107,827	97%
一般方式	2,490,586	2,509,448	+18,862	101%
センター利用方式	1,295,689	1,169,000	-126,689	90%

※数値は5/8現在河合塾調べ、私立493大学の集計  
※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

■大学グループ別

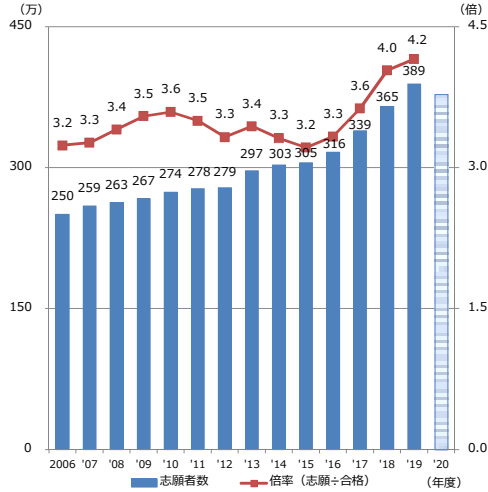
	2019年度	2020年度	前年差	前年比
首都圏				
早慶上理	241,722	225,541	-16,181	93%
MARCH	449,134	412,269	-36,865	92%
成成明國武	118,980	102,060	-16,920	86%
日東駒専	327,779	295,527	-32,252	90%
理系10大学	290,826	303,696	+12,870	104%
女子14大学	87,623	75,083	-12,540	86%
近畿圏				
関関同立	280,227	274,449	-5,778	98%
産近甲龍	288,357	273,850	-14,507	95%
北星学園・北海学園	10,283	11,235	+952	109%
東北学院	10,728	9,938	-790	93%
南山・愛知・中京・名城	123,374	122,457	-917	99%
西南学院・福岡	72,576	73,409	+833	101%

※数値は5/8現在河合塾調べ  
※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

(大学グループ)

早慶上理：早稲田、慶応義塾、上理・東京理科大学 MARCH：明治、青山学院、立教、中央、法政、日本経済、日本、東洋、駒澤、専修  
成成明國武：成成、明成、明治学院、南学園、武蔵 理系10大学：千葉工業、北星、立教、工業、東洋理工、東海学院、愛知学院、東洋経済、山形、神奈川理工  
女子14大学：大妻女子、宇都宮女子、共立女子、白百合女子、麗澤女子、昭和女子、聖心女子、清泉女子、聖徳、東京女子、慶応家政、日本文学、東京女子学院、フェリス女子学院 関関同立：関関、関西学院、関西大、立命館 産近甲龍：産近甲龍、近畿大学、愛媛、甲南、福山

私立大志願者数の推移



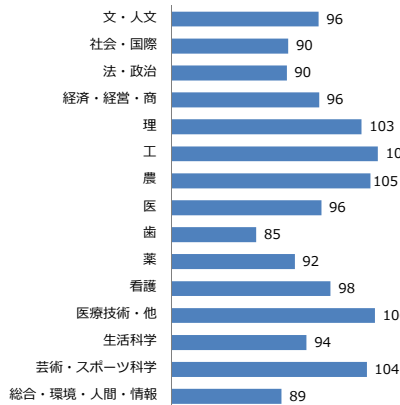
※文部科学省資料より

※グラフは私立大一般入試最終志願者数・倍率の推移(2020年度は推定)



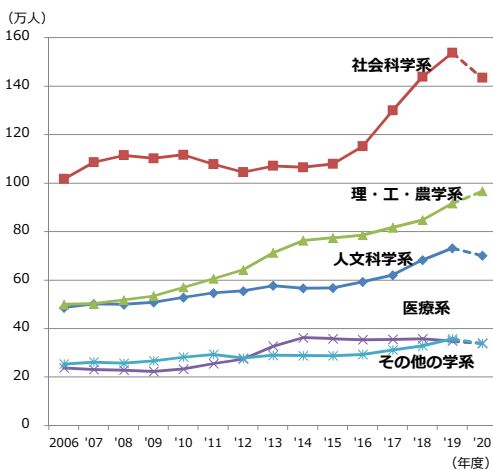
### 私立大の志願状況②(系統別の状況)

学部系統別志願者数の変化



※数値は5/8現在河合塾調べ、私立493大学の集計  
※グラフ内の数値は志願者前年比 (%)  
※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

学部系統別志願者数の推移



※河合塾調べ

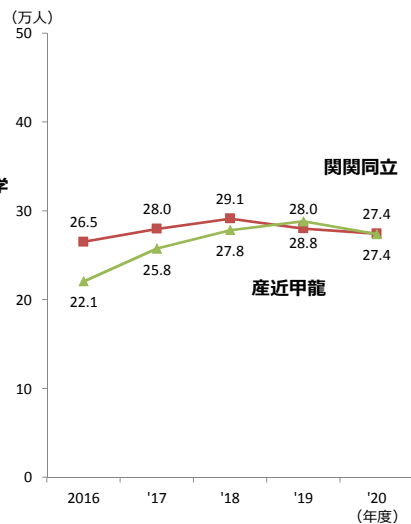
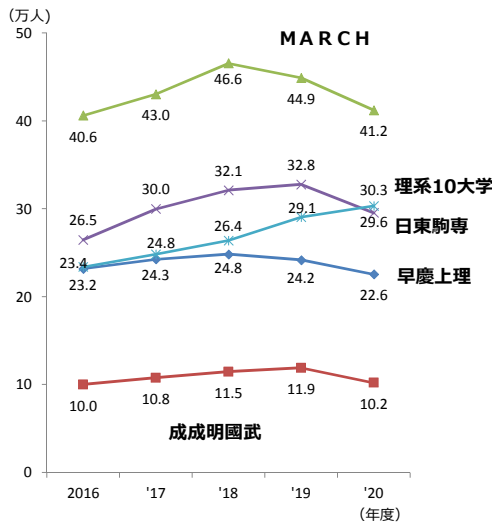
※グラフは私立大一般入試の系統別志願者数の推移 (2020年度は推定)



## 私立大 大学グループ別志願者数の推移

<首都圏>

<近畿圏>



※数値は5/8現在河合塾調べ  
※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

## 難関私立大学 学部別志願状況

	早慶上理 93				MARCH 92						関関同立 98			
	早稲田 94	慶應義塾 92	上智 94	東京理科 93	青学 96	中央 93	法政 90	明治 92	立教 89	同志社 93	立命館 110	関西 94	関西 86	
文 95	102	92	98		92	105	88	87	98	文 102	98	120	91	99
教育 94	98				78					教育 78				78
心理 88									88	心理 93	97	91		
国際系 89	国際教養 86		外国語 86		地球社会 65		国際文化 89	国際日本 99	異文化コミ 73	国際系 96	クロコミ 106	国際関係 103	外国語 87	国際 98
			総合グロ 114				グロ-ノビレ 89				グロ地域 99			
社会 99	96						78		96	社会 89	94	95	81	85
福祉 66							78		59	福祉 82				82
法 89	87	88	82		100	104	81	83	81	法 88	77	88	105	78
政経 112	91				88			143		政策 86	119	93	84	64
経済 87		88	98		86	100	70		82	経済 105	92	129	103	85
経営 88				70	104	68			102	経営 145		145		
商 86										商 85				
理 97	83	94					89		84	生命系 101	77	73	90	97
				理 95			生命科学 92	総合数理 89	理 108		生命医科 91	生命科学 106		
理工 98	基幹理工 103	理工 95	理工 92	理工 94	理工 106	理工 99	理工 96	理工 98		理工 107	理工 101	理工 120	化学生命工 98	理工 89
	創造理工 90			工 96			デザイン工 97				情報理工 121	環境都市工 100		
	先進理工 96			基礎工 108								シス理工 108		
農 91									91	薬 102		102		
医 91		91								スポーツ 94	93	95		
薬 94		94		94						情報系 93	文化情報 102		総合情報 90	
看護 86		86								人間系 103			人間健康 103	
スポーツ 90	87							92		他 81		映像 96	社会安全 74	
情報系 83		環境情報 90			社会情報 117	国際情報 48	情報科学 95	情報コミ 90						
人間系 95	人間科学 97		総合人間 100		コミュニティ 152		人間環境 77							
他 91	文化構想 98	総合政策 92			総合文化 96	総合政策 86	キャリア 76		観光 92					

※表中の数値は一般+センター方式の志願者前年比(%)、数値は5/8現在河合塾調べ  
※早稲田：社会科学→社会 ※青山学院：教育人間科学→教育、国際政治経済→政経 ※中央：国際経営→経営 ※法政：現代福祉→福祉 ※立教：現代心理→心理、3S174福祉→福祉 ※立命館：総合心理→心理、産業社会→社会、政策科学→政策 ※関西：政策創造→政策 ※関西学院：人間福祉→福祉、総合政策→政策 ©Kawajuku Educational Institution. 18

## 早慶上理 大学別志願動向分析

大学	志願者前年比	志願動向
早稲田	94%	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年連続の志願者減だが、志願者数は今春も10万人を超えた。センター方式での減少が目立つ（前年比86%）</li> <li>志願者が増加したのは、文、基幹理工の2学部のみ。2学部とも、前年入試で倍率がダウンしたため、志願者が集まった</li> <li>志願者の減少率が高いのは、商、法、スポーツ科学など。商学部では、センター方式の志願者が前年から3割以上減少。前年入試で倍率が高騰したため、敬遠された様子がみられる</li> </ul>
慶應義塾	92%	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年連続の減少となり、今春の志願者数は4万人を割り込んだ。過去10年を遡っても最少の志願者数となった</li> <li>法、経済、看護医療などの学部では高い減少率となった</li> <li>今春から学門の名称と構成を変更した理工学部では、学門D（機械・システム分野）が最も高い志願倍率（志願者÷募集人員）となった</li> </ul>
上智	94%	<ul style="list-style-type: none"> <li>志願者は前年から約1千8百人の減少</li> <li>方式別にみると、学科別方式は前年比92%と減少したのに対し、TEAP利用型は同101%と前年を上回る志願者数となった</li> <li>学部別では、多くの学部で志願者は減少。総合グローバル、総合人間科学の2学部のみ志願者が増加した</li> </ul>
東京理科	93%	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般方式では概ね前年並みの志願者が集まった一方、センター方式では減少。なかでも、センター試験日以降に出願可能なC方式（センタ併用）の志願者が大きく減少した</li> <li>近年志願者の増加が続いた経営学部では、前年から3割減少</li> <li>基礎工学部では、学内で唯一志願者が増加。とくにセンター方式での増加率が高く、前年低倍率だった学科に志願者が集中した</li> </ul>

※数値は5/8現在、河合塾調べ

©Kawajuku Educational Institution. 19

## MARCH 大学別志願動向分析

大学	志願者前年比	志願動向
明治	92%	<ul style="list-style-type: none"> <li>志願者数は減少したものの、今春も10万人を超える志願者が集まった。方式別では、センター方式で大きく減少した</li> <li>志願者減少の学部が目立つなか、政治経済学部では前年から4割以上増加。前年入試で倍率がダウンした経済学科に志願者が集中した</li> </ul>
青山学院	96%	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般方式では前年を上回る志願者数となった一方、センター方式では前年比79%と大きく減少</li> <li>新設2年目のコミュニティ人間科学部では志願者が前年から5割以上増加。前年入試が他の文系学部と比べて低倍率だったことなどが要因と考える</li> <li>地球社会共生、経済学部などでは大きく減少。前年入試で志願者が増加した反動がみられる</li> </ul>
立教	89%	<ul style="list-style-type: none"> <li>センター方式で前年比80%と大きく減少し、大学全体では2年連続の志願者減少</li> <li>コミュニティ福祉、法、経済学部などで志願者が大幅に減少</li> <li>グローバル方式では、志願者が前年から半減。過去の入試が高倍率だったこと、一部の学部・学科を除き出願要件となる英語資格・検定試験の基準が引き上げられたことが要因</li> </ul>
中央	93%	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般方式では概ね前年並みにとどまったが、センター方式で大きく減少</li> <li>新設2年目の国際経営、国際情報の2学部で志願者が大きく減少。とくに国際情報学部は、前年入試が高倍率だったため、警戒された様子がうかがえる</li> <li>前年志願者が減少した文、法学部では、今春の志願者は増加</li> </ul>
法政	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年連続の志願者減となったが、今春も志願者数10万人強を維持。方式別では、センター方式で前年から2割減少</li> <li>前年入試で志願者が減少した社会、経営の2学部では志願者が増加</li> <li>経済、キャリアデザイン、人間環境では志願者大幅減となった。なかでも経済学部は前年から3割減少した</li> </ul>

※数値は5/8現在、河合塾調べ

©Kawajuku Educational Institution. 20

河合塾

## 入試の現状

# 学部系統の人気の変化 社会的背景が大きく影響

**~2010**

- 08 ● 医学部定員増スタート
- リーマン・ショック
- 11 ● 東日本大震災
- 九州新幹線全線開通
- 貿易収支が赤字に転落
- 12 ● 東京スカイツリー開業
- スマホ普及が本格化
- 第2次安倍内閣発足
- 13 ● 東京オリンピック・パラリンピック開催決定
- リニア整備計画決定
- アベノミクス、流行語に
- 14 ● 消費税率8%に引き上げ
- 15 ● 現行教育課程による初年度入試
- 北陸新幹線開業
- 16 ● 国立大学の学部再編・改組相次ぐ
- 英国 EU離脱表明
- 人口知能 (AI) に関する報道増加
- 17 ● 大学生就職内定率 調査以来過去最高値
- 訪日外国人の数 過去最多
- 18 ● 平昌五輪開催
- 医学部不適切入試明るみに
- 19 ● 平成から令和に改元
- 消費税率10%に引き上げ
- 最後のセンター試験

**~2020**

### 入試の傾向

**2006~08年度入試**

- 経済系・工学系人気、資格系の人気低下

**2009~11年度入試**

- 理系学部の人気上昇
- 資格系学部「教育」「医療」が高い人気

**2012~14年度入試**

- 理系生の増加続き文低理高が鮮明
- 医学科志願者大幅増
- 工学部建築・土木・機械分野の人気

**2015~16年度入試**

- 国公立大人気落ち着く
- 文高理低に転換、国際系人気

**2017~18年度入試**

- 社会科学系と工学系（建築・情報）人気
- 農学系、医・薬・教育などの資格系は不人気

**2019年度入試**

- 文高理低崩れる
- 教育、医・歯・薬の医療系不人気

**2020年度入試**

- 理工系の人気上昇、社会科学系の人気低下
- 教育、医・歯・薬の医療系不人気続く

©Kawajuku Educational Institution. 21

河合塾

## 学部系統の人気の変化

# 系統人気の推移 系統人気は変化する

文系生・理系生の占有率推移

入試年度	文系生 (%)	理系生 (%)
2009	57%	43%
'10	57%	43%
'11	55%	45%
'12	54%	46%
'13	53%	47%
'14	52%	48%
'15	52%	48%
'16	53%	47%
'17	54%	46%
'18	55%	45%
'19	55%	45%
'20	55%	45%

● 2015年度を境に理系人気から文系人気に転換  
 ● 2020年度は理系生の比率上昇 再び変わり目に差しかかる？

※河合塾「センター・リサーチ」より、文理は本人のマークによる（マークがない場合は志望校にて集計） ©Kawajuku Educational Institution. 22